

養魚池用・ドラムフィルター式強制濾過機

(PM共通)

取扱説明書

- ・ 高効率
- ・ 濾過サイクル
- ・ 自動逆洗浄
- ・ 手動による手洗いは禁止



日本エコル株式会社



装置が正しく動作させるために、必ず説明書をよく読んで下さい。このマニュアルに記載されていない問題が発生した場合販売店またはメーカーにお問い合わせください。



警告/ガイドライン

このラベルは、警告、推奨事項、およびガイドランスを指します。

感電の危険性

感電は死亡または重篤な人身傷害を引き起こす可能性があります。機器にとっても危険です。権限のない人が装置にアクセスできないようにしてください。

機器またはジャンクションボックスを開ける前に、機器を電源から外してください。適切にアースされた電源なしでこの装置を動作させないで下さい。



装備

モーターの動作中、内部ファンを含むすべての回転部品が

安全に動作できることを確認してください。



※重要な安全情報と警告※

このマニュアルには、操作、設置、トラブルシューティングに関する重要な情報が含まれているため、いつでも

確認できるようにしてください。

※注意※

マニュアルおよびそこに含まれる安全上の注意事項および警告を無視した不適切な使用によって引き起こされた機械の損傷または傷害については生産者・販売者とも一切の責任を負いません。

付属品



強制濾過機本体(PM5)



接続部

ポンプ、取付ホース、パイプ等は、付属されていません。ご自身で準備をお願いします。

	PM5	PM10	PM20	
ボックス寸法(mm)	430×390×370	500×400×430	565×465×566	
最大水流量 (m ³ /h)	5m ³ /H	10m ³ /H	20m ³ /H	
池水量	15t	30t	50t	
フィルターメッシュ	200	200	200	ステンレス316フィルター 75μm
洗浄ポンプ出力(W)	80W	80W	80W	DC24Vブラシレス モーター
ドラムモーター出力(W)	15W	20W	25W	
ドラムサイズ	∅220×200	∅260×280	∅400×438	
給水口(mm)	40mm×1	50mm×2	75mm×2	
水出口(mm)	50mm×1	63mm×2	110mm×2	
ドラム洗浄下水出口 (mm)	50mm	50mm	50mm	
底部排水口 (mm)	(IN32mm1口利用)	25mm×2	25mm×2	

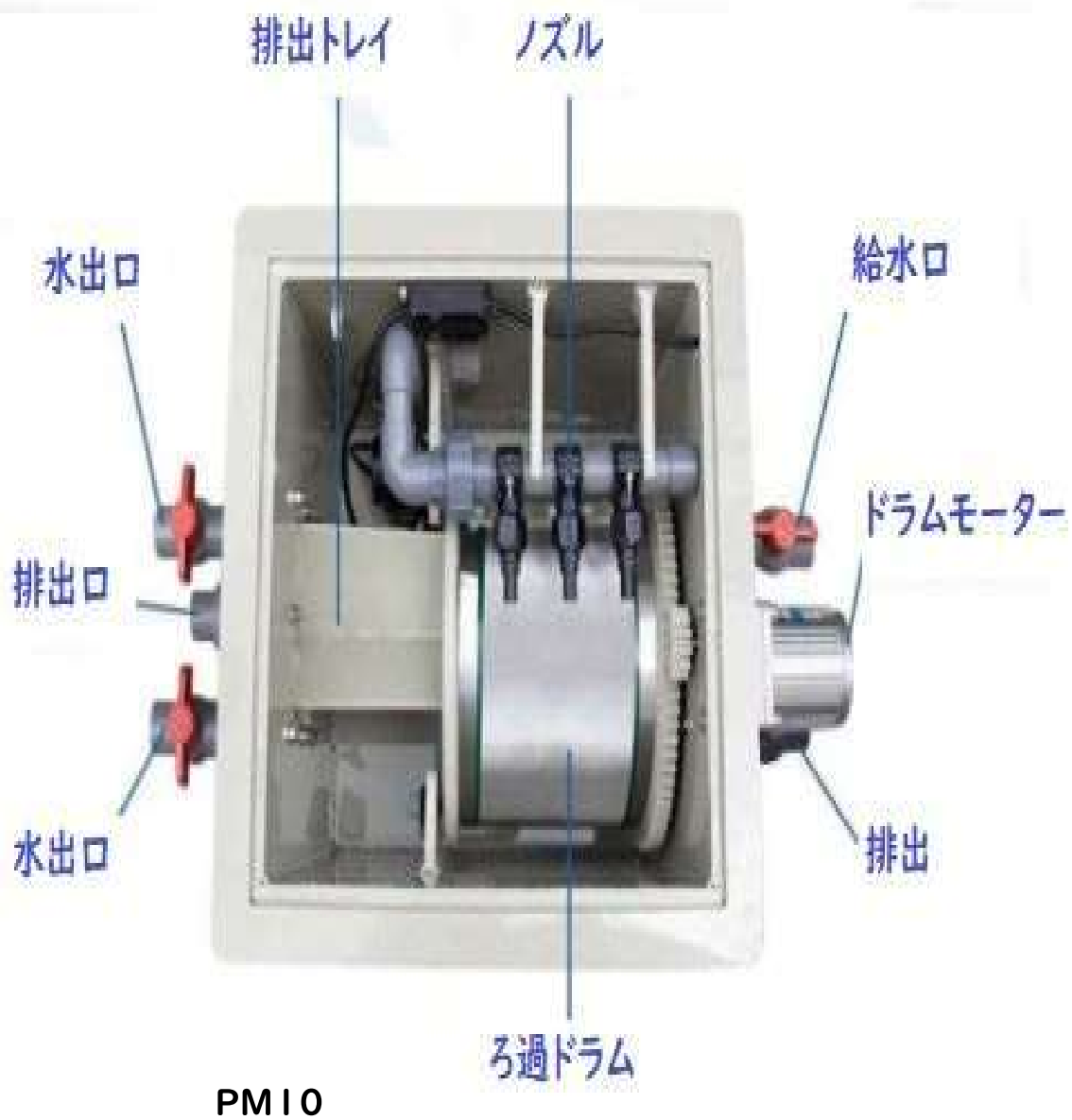
*さまざまな電圧やカスタマイズ要件に応じて、特定の寸法が異なる場合がありますので、ご了承ください。
※寸法は計測の仕方によって誤差が生じる場合がございます。

※製品について※

【説明と機能】

マイクロフィルタードラム濾過、
オールインワンの養魚池濾過装置で、精巧に設計されており
設置が簡単で、操作も簡単で、電気と水中ポンプに接続するだけです。
使用前に入口と出口を確認してください。

統合された魚池濾過装置は、水中の残留餌や魚の糞を効果的に濾過でき、
自動洗浄機能が装備されており、汚水を迅速に浄化して排出できます。



このシステムを正しく使用するには、安全ガイドラインを守ってください。

人身傷害や物的損害を避けるために設計された目的以外に、

このシステムを使用しないでください。

このシステムは、子供や

経験や知識のない方は操作しないでください。

操作が必要な場合は、専門家の監督の下で操作し、安全上の注意を伝えてください。

掃除やメンテナンスは必ず大人の方が行ってください。

設置前の注意事項

1. 稼働中の魚池濾過装置は水で満たされているため、

水平面に設置する必要があります。

ドラムの位置がずれ、正しくろ過ができません。

2. 魚池濾過装置一体型機械を実行する前に、洗浄ポンプが空運転しないように、

タンク内の水が 3 分の 1 以上あることを確認してください。

4. 注意! 感電の危険があります!

・装置の機能操作、清掃、日常保守点検は、必ず電源を切ってから行ってください。

・電装ボックスのスイッチが誤って開かないよう保護してください。

・調光器付き電源には絶対に接続しないでください。

・タイマー機能付きスイッチと組み合わせて使用しないでください。

・コントロールボックスはポンプが水面より下にあり、

・電極が水面より下にある場合にのみ開けてください。

- 損傷を防ぎ、つまずいたり転んだりしないように、
 - 必要な場合にのみ、ユーザーマニュアルの指示に従って、
- モーターまたはその他の電気部品のハウジングを開けてください。

6. システムのメンテナンスやその他の操作は、

このユーザーマニュアルの指示に従ってのみ実行してください。

- ・解決できない問題がある場合は、販売元にご連絡ください。
- ・このシステムを使用する場合は、純正のスペアパーツのみを使用してください。
- ・このシステムの技術的特徴や仕様をいかなる形でも変更しようとししないでください。
- ・コネクタワイヤーのケーブル交換はできません。

ケーブルが損傷した場合は、

システム全体または影響を受けるコンポーネントを完全に交換する必要があります。

- ・屋外で使用する場合は、機器上部に防雨天幕を設置してください。
- ・電圧不一致によるシステム障害を避けるため、機器に対応した電源電圧をご使用ください。
- ・装置停止時は装置内の水を抜き、ローラーのはみ出しや変形を防ぐため、
装置停止中は水を通さないでください。



- ・ウォーターポンプの設置は装置の標準流量を厳守し、
装置内の水位が高くなりすぎてボックスから溢れ出る恐れがありますので、
無断で装置の流量を増加させないでください。



強制濾過の設置や使い方などセラチャンネル様が丁寧に
説明されています。QRコードを読み込んで動画をご覧ください。



錦鯉 セラチャンネル

<http://www.youtube.com/@sera9>

1. 機器は設置前に注意深く検査する必要があります。

パッケージおよびオールインワンに損傷の兆候がないことを確認してください。

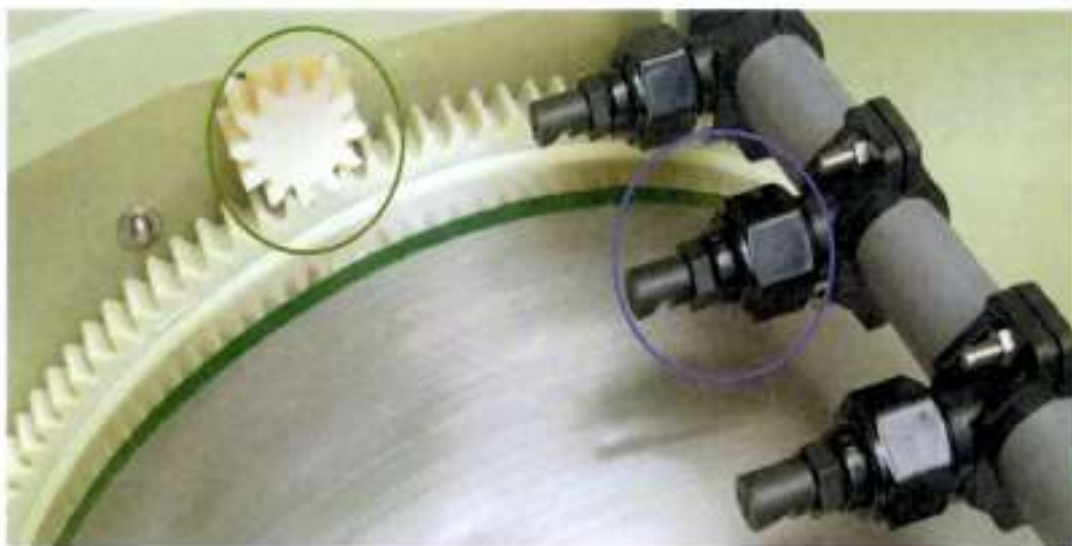
2. デバイスの内部をチェックして、内部に他の残留物や物品がないことを確認します。

3. さらに、ドラムとスクリーンテンションリングの間のテフロンシールが一致しているかどうかを確認し、隙間がないことを確認する必要があります。

シールが緩すぎる場合は、テンションリングを締めてください（きつすぎないように注意してください）。



4. モーターの伝達ギアが適切であるかどうかを確認し、伝達ギアが噛み合うことを確認し、ギアが緩んでいないかどうかを確認します。損傷がある場合は、直ちに最寄りの販売店にご連絡ください。



装置の水タンクに水が 3 分の 1 以上あることを確認してください。

7. 一体型機械は運転中に水が満たされるため、必ず水平に設置してください。

プローブの設定

白いノブを動かすことで検出器の位置を調整できます。

※プローブの高さが低すぎるとフロートが感知して自動洗浄を設定時間とは異なり稼働しますのでご注意ください。ポンプの流量を調整して下さい。



プローブの取付

給水ポンプ送出時、ドラム型精密濾過機の前に液面感知プローブを設置し、フロートが上部カードまで上昇すると逆洗を開始しドラムが回転します。



※注意※

電気制御ボックスの配線は機種により異なる場合がありますので、再配線が必要な場合は販売元にご相談の上、専門業者にご依頼くださいませ。

【コントロールボックス内部】



N: ニュートラル (接地)

L: ライブ (非接地)

【タイマーコントロールボックスの外観】



① ろ過スイッチOFF/ON

【洗浄タイマー設定外観】



パネルはタイマー設定が可能です。

※初期設定は【30S 06H】＝【6時間ごとに30秒洗浄】という意味です

- ・数字の上下のキー：「+」は値の増加、「-」は値の減少です
- ・文字上下キー：時間と分の単位を切り替えます。

【トラブルシューティング】

1:ドラムは回転しないが、クリーニングは正常なとき

①ギアが緩んでいないか確認する

→緩んでいる場合はリセットする

②減速機が熱くなっていないか確認する

→発熱している場合- コンデンサーを確認してください

→熱くない場合——減速モーターを確認してください

③ローラーが固着していないか確認する

→メインシャフトベアリングを分解し、ベアリングを交換します。

2: ドラムは回転しますが、クリーニング防止装置が動作しません。

①浄水タンクの水位が低くないか確認する

→ 水位を上げる

② 洗淨防止ウォーターポンプが故障していないか確認してください

→新しいウォーター ポンプと交換します。

保証期間内であれば、保証に従って交換についてサプライヤーに連絡してください。

3:フィルターが汚れている

① ノズルが詰まっていないか確認する

→ ノズルを取り外し、掃除して再度取り付けます

②ウォーターポンプの出力圧力が十分であるかどうかを確認し圧力が十分でない場合

→圧力が不十分です - ウォーターポンプを交換してください

4:自動洗淨装置が停止できない

① 水入口収集ビン内の水位が常に高すぎないかどうかを確認します

→ 取水流量を減らします

②フロートスイッチにゴミが付着していないか確認する

→フロート スイッチを掃除します

4-1:循環リレーの故障の確認

→サイクルリレーを交換します

複合機の吐水口から水がスムーズに流れ出ることを確認してください。

【設置例】



[製品に関するお問い合わせ]

日本エコル株式会社

JAPAN ECOL

〒739-1754

広島市安佐北区小河原町1609-4

TEL:082-824-7975

FAX:082-824-7976

mail@jp-ecol.com

